

ラ・フランス収穫適期判定指標

山形県「ラ・フランス」振興協議会

満開後日数による収穫始期の目安

●満開後 165日頃

＜園芸農業研究所の平均(H22～R01)＞

満開期からみる収穫始期

4月26日の場合 … 10月8日頃

5月1日の場合 … 10月13日頃

◎夏期間(8月～9月)の天気と収穫期の早晚

「高温で日照が多い」

→ 満開後日数が長くなる。(収穫が遅くなる)

「低温で日照が少ない」

→ 満開後日数が短くなる。(収穫が早まる)

●適期判定の留意点

- ・秋季の高温によりヨード反応指数の低下が緩やかな年があることから、満開後日数、果実調査(ヨード反応指数、果肉硬度)、気象状況、中生品種の追熟状況から総合的に判断する。
- ・収穫適期の果実は枝から取れやすくなる。
- ・樹勢が弱い樹、樹の上部、南側の日あたりが良い果実は、成熟が早い。

果実調査による収穫適期の目安

●ヨード反応指数: 2.5～1.5 (始期) (終期)

◎ヨード反応による調査方法

- ・園地の平均的な生育の果実を2～3個以上用意。
注: 胴枯病が発病した枝の果実は用いない
- ・果実の果芯部を輪切りにして、断面に筆などでヨード・ヨードカリ液を塗る。
- ・15分後の染色程度(ヨード反応指数)を判断する。
→裏面参照
- ・それぞれの果実の指数を平均して判定。

＜ヨード・ヨードカリ液のつくり方＞

- ・水100ccにヨウ化カリウム5gとヨウ素1gを溶かす。

注:ヨウ素(劇物)の取り扱いには十分注意する。

ヨウ素は溶けにくいので、ぬるま湯で溶かすのが良い。

ヨード反応指数と収穫始期までの日数の目安

指数	4.5	4.0	3.5	3.0
収穫始期 までの日数	20～25日	15～19日	10～13日	5～7日

※1日0.08～0.1下がるとして、指数2.5に達するまでの日数。

◎収穫前の天気とヨード指数の低下

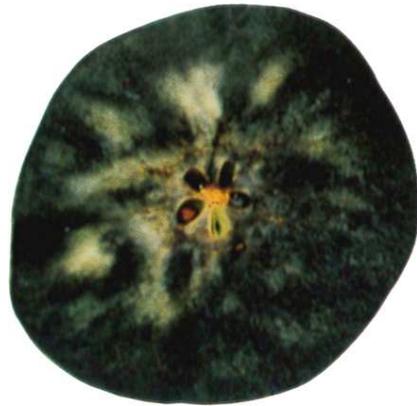
- ・雨の日や、平年より高温の日は、指数の低下が遅くなる。
- ・平年より低温の日は、指数の低下が早まる。

ヨード反応指数と収穫適期の目安（ラ・フランス）

4.5



4.0



3.5



3.0

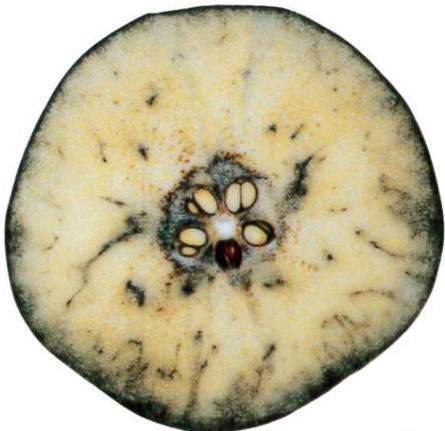


未熟

収穫早い

収穫適期

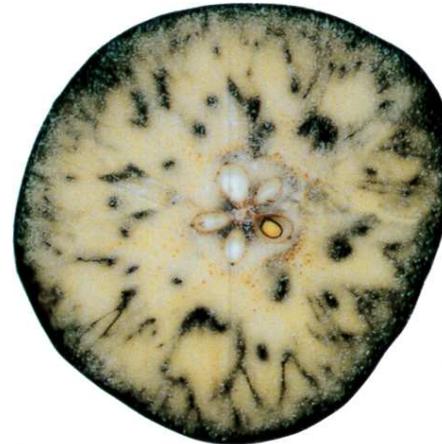
1.0



1.5



2.0



2.5

